

症例ご提供：ブローネマルク・オッセオインテグレイション・センター
小宮山彌太郎先生

Point 術前の評価と術中のモニタリング 客観データに基づく判断

来院時には、最高血圧 126mmHg、最低血圧 80mmHg、脈拍数 84bpm であったが、施術直前の血圧が非常に高く、30分以上経過をみても、一向に血圧が下がらなかったため、その日の手術は中止することを決断。

データをもと患者様にその旨説明することにより、納得を得られた。(図 1)

以前別の施設でインプラント手術を行った際、術後に頭痛と吐き気をもよおしたという。その際にはモニタリングはしていなかったとのことであった。

約 2 週間後、血圧コントロールを行った上で、歯科麻酔科医による静脈内鎮静下で手術を実施。(図 2)

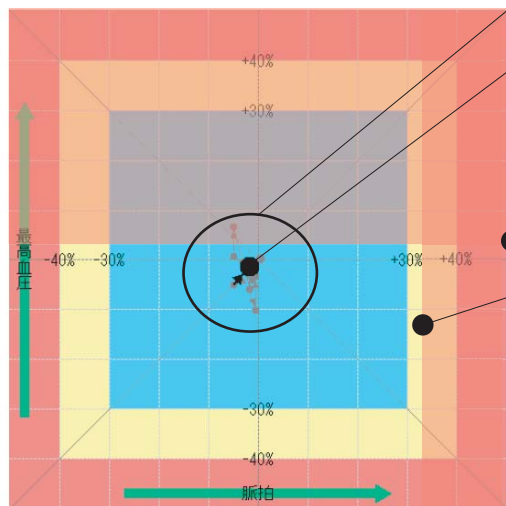
リスクを事前に予知することは非常に重要。これからは、客観的なデータに基づいて判断することが、患者のみならず、歯科医師自身の身を守ることになる。

63 才 女性 主訴 上顎無歯顎 全身既往 軽度糖尿病 高脂血症治療薬 (クレストール) 服用中

来院時 最高血圧 : 126mmHg 最低血圧 : 80mmHg 脈拍 : 84bpm

約 1 時間後

(図 1) 手術当日 (手術室) のデータ



最高血圧が高いまま、あまり変化していない

基点 (施術直前 最初の血圧)

最高血圧 : 193mmHg 最低血圧 : 134mmHg 脈拍 : 91bpm

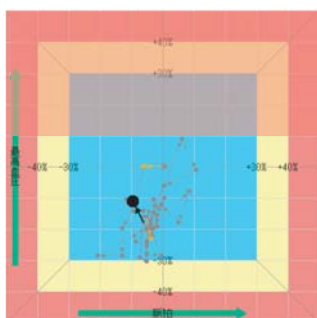
絶対値を表示

血圧が高いことが一目でわかる

脈拍数も速いことが一目でわかる

測定時間	SYS (mmHg)	(MAP) (mmHg)	DIA (mmHg)	PR (bpm)	SpO2 (%)	RPP (×1000)
14:22	193	(160)	134	91	98	17.6
14:24	181	(156)	129	89	100	16.1
14:29	190	(160)	132	89	100	16.9
14:39	194	(164)	138	86	---	16.7
14:41	206	(171)	137	86	---	17.7
14:47	173	(149)	110	90	---	15.6
14:49	186	(147)	109	90	---	16.7
14:54	183	(158)	125	86	---	15.7
14:59	190	(165)	133	89	100	16.9

(図 2) 約 2 週間後 静脈内鎮静下で実施時のデータ



歯科麻酔科医のコメント